

平成25年度 日本老年看護学会生涯学習支援研修 基礎編【沖縄・九州】 報告

開催日時 平成 25 年 11 月 26 日 (火) 14 時～17 時

会場 沖縄県立看護大学 福岡県立大学

参加者数 139 名 (会員 6 名、非会員 133 名)

運営担当 大湾明美、佐久川政吉(沖縄県立看護大学)
國吉緑(琉球大学)、渡邊智子(福岡県立大学)
島袋啄也、伊野波初子(浦添看護学校)

テーマ・講師

認知症高齢者の尊厳を支えるケアとは？
—疑似体験を通して、心身の抑制を考える—
講義：佐久川政吉氏、演習：國吉緑氏、渡邊智子氏



アンケート結果・感想 (回収数 130)

①参加者の概要

1) 所属

一般病院 (80)、介護施設 (14)、教育機関 (5)、その他；精神科病院、役場、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、一般と回復期リハビリ療養病棟のケアミックス病院

2) 経験年数

10 年以上 (92)、5 年以上 10 年未満 (19)、3 年未満 (9)、3 年以上 5 年未満(7)

3) 研修会を知ったきっかけ

上司の紹介 (80)、学会関係者の紹介 (15)、ポスター (10)、老年看護学会ホームページ (8)、学会からのメール (8)、同僚の紹介 (4)

4) 受講動機 (複数回答)

テーマに関心があった (91)、老年看護の基礎を学びたい (51)、上司の勧め (45)、知識や技術を身につけたい (44)、講師に関心があった (11)、会場がアクセスしやすかった (8)、参加費が安かった (4)、知人の勧め (2)、なんとなく(2)

②研修会について

1) 研修は期待通りであったか

期待通り…66 (50.8%) まあ期待通り…55 (42.3%) どちらでもない…4 (3.1%)

2) 老年看護における看護師の生涯学習支援について

非常に必要…95 (73.1%) まあ必要…30 (23.1%)

3) 今後の老年看護学会主催研修会への参加について

とても参加したい…70 (53.8%) まあ参加したい…47 (36.2%) どちらでもない…8 (6.2%)

4) 今後取り上げてほしいテーマ

- ・高齢者の特徴に応じた症状へのケア (脱水、頻尿、食事介助、不眠) ・高齢者の心理面 ・認知症の患者の退院支援
- ・認知症の方への薬の使い方 ・セルフネグレクト ・具体的対策 ・介護 (入院) を支える家族への支援、関わり方
- ・せん妄と認知症 ・認知症についての継続 ・地域との協働連携の仕方 ・地域包括支援センター ・高齢者と文化
- ・ターミナルケア ・離島・へき地での高齢者ケア ・抑制についてのテーマでさらに深く考えていきたい
- ・認知症高齢者の穏やかな生涯を行うための取り組み ・認知症の拒食への対応 (ケア) ・認知症患者の在宅ケア
- ・身体抑制の具体的な代替方法、実施例 ・抑制なしの工夫のいろいろ ・せん妄患者対応 (疑似体験も含む)
- ・認知症対応 ・認知症患者への倫理的配慮 ・認知症患者とのコミュニケーション ・認知症患者の食 (胃瘻造設を含む)
- ・虐待予防 ・持てる力を引き出す支援の具体的なケア

5) その他

- ・今回の研修方法を現場でもやってみたい ・他の看護者の話を聞くことで、視野が広がった
- ・他の意見を聞け楽しく学べた ・ロールプレイで認知症患者の体験が出来思いを感じることが出来たのでとても良かった
- ・抑制についてはよくないことは 100 も承知ですけど実際の現場ではまだまだあること、それについて工夫していることがわかった ・興味深い研修だった

沖縄・九州地区では、老年保健看護を担当する教員有志で実行委員会を立ち上げ、現場から挙がってきたニーズをもとに、研修を企画しました。また、通信機器を活用することで、沖縄会場と九州会場をつなぎ研修会を開催しました。

現在、実践者を含め、高齢者ケアの質向上をめざし、「沖縄高齢者ケア研究会 (仮称)」の設立に向け、準備しています。

(生涯学習支援研修会 沖縄・九州地域担当)